

甲南大学FD委員会主催 FD・SD セミナー「2025 年度 新任教職員ガイダンス」開催

2025年4月2日に、FD・SD セミナー「2025 年度新任教職員ガイダンス」を開催しました。中井伊都子学長をはじめ、高龍秀副学長、村嶋貴之副学長、渡邊順司副学長、秋宗秀俊学長補佐、村澤康友学長補佐、阿部真大学長補佐が出席されました。新任教職員の出席者は29名でした。



まずは中井学長より、甲南大学の人物教育に関する詳細なお話がありました。その概要は次の通りです。

“甲南大学は、人物教育率先の理念のもと、8 学部・14 学科・1 学環・4 研究科から構成されており、「ミディアムサイズの総合大学」となっている。「ミディアムサイズの総合大学」とは、規模としては中規模大学でありながら、多数の学部を有す総合大学であり、この特長を生かした教育の姿を「人物教育のフレームワーク」として掲げ、学生の個性を伸ばす独自性の高い教育を実践している。

また、甲南大学は、学生が自分の可能性を広げ「個性を力に」するために自分の目的に応じて選択できる、独自の教育プログラムである「彩り教育」を掲げており、各部局にて様々な彩り教育が展開されている。特に「正課外教育」の彩りとして、授業だけでは評価できない一人ひとりの輝く個性を応援する「KONAN サーティフィケート制度」を展開しており、累計エントリー者数も3000名を超えるなど、年々参加者は増加している。現在は18歳人口の減少に立ち向かうべく、入試制度改革や2026年度からの進化型理系構想の実現など、さらなる改革を進めている状況である。”



甲南大学のFD活動について

2025年4月2日

教育学習支援センター

新任教職員の自己紹介の後には、高副学長・FD 委員長が「甲南らしさ」として、建学の理念や学園創立者 平生鈇三郎に関する歴史等のご説明があり、教職員の業務に通ずる具体的な人物教育の実践について話されました。

その後、甲南学園 D&I 推進委員会事務局より本学 D&I の取り組み紹介がなされました。様々な多様性や属性を認めることに加え、組織ではそれぞれの個性を活かしながら、共に働くことの重要性について周知されました。

最後に、教育学習支援センターから、授業改善アンケートやシラバスチェックなど甲南大学の FD 活動について説明がありました。

新任教職員の皆様、ご参加いただきありがとうございました。